

第1回メロンパンセミナー

—百貨店におけるリビング商品あれこれと消費者の購買動向—



谷川 久氏



会場風景

関西地区人材育成部会では昨秋2回にわたり、会員が気楽に参加できる「メロンパンセミナー」を開催した。このセミナーは平日の夕刻、お茶とメロンパンを食べながらリラックスした雰囲気の中でゆっくり講師の話を楽しもうというもの。視野を広げるとともに会員間の親睦も深まった。

●第1回メロンパンセミナー

「百貨店におけるリビング商品あれこれと消費者の購買動向」

■開催日 04年9月28日 ■会場 大阪化繊会館

■講師 ⑭阪急百貨店 リビング商品部長 谷川 久 氏

第1回メロンパンセミナーは阪急百貨店 リビング部長 谷川 久氏を講師に招聘し行われた。谷川氏は阪急梅田店で長年にわたり寝装・インテリア商品のMDを勤められ、業界のカリスマバイヤーとして知られている。

10月1日の改装前という超多忙なときのセミナーにもかかわらず、寝装・インテリアの販売フロアの基本構想や商業施設として百貨店の問題点、さらにこれからの小売形態のあり方についてなど多面的な取り組み解説いただいた。

過当競争に陥った和食器の改革、デザイナーによる賢明な暮らしの提案、枕工房に続き全国に先駆けて設置する敷き布団工房の企画意図、選りすぐられたブランド商品の導入などデフレスパイラルからいかに脱却を図るか、地域一番店を目指す梅田阪急の生々しい戦略を詳しく聞くことができたのは貴重な経験であった。特に「極上品の販売」をキーワードにリビング商品が、ギフトやアイテム重視の視点からライフスタイル提案に移行し、さらに生活文化財として位置づけられるプロセスについての説明はインテリアテキスタイルの分野で活動する参加者の興味を引いた。

100円ショップやディスカウントストアの活躍、対抗するGMSやSPAのこれからの動向、都心の百貨店と地方百貨店の戦略など小売業界のすさまじい競争の話に思わずひきこまれた。